

《人生戦略》の必要度合いは、

「各年代」（35歳まで／35～44歳／45～54歳／55歳以上）によって異なります

（※年齢はあくまで目安です）

35歳まで	社会がどんなに変わっても「右肩上がりの幸せな人生を実現する。そのための人生戦略がある」。—— 将来への希望を持って「Well-doing」（仕事人生&人生の基礎を作る：例えば、職業人として収入や役職を獲得する／一個人として家庭を形成する）を意識して邁進すればいい
35 〜 44歳	この年代は「個々人が生き方・働き方を主体的に選び取っていく」時代の先頭世代。そのため率先して「納得のいく仕事人生&人生とは？」という「問い」に対して「自分なりの答え」を考える。—— そして「失われた30年」の社会で生きてきた“右肩下がりの体質”を捨て去って（=アンラーニングして）「右肩上がりの体質」に変換し、生きる自信を持つ
	この年代で大切なのは「Well-doing」の総仕上げ。「Well-doing」を目一杯積み上げて「自分を確立する」（=自分建立する）。—— 仕事人生&人生の基礎を作り上げます
	やがて「Well-doing」の「ピーク」（=40代中頃）に向かっていくことになります。—— そこで40代に入ってから、『Well-being』（=良き存在／人間力）に意識を向け、「人生の目的」と「幸福の総量」（=Well-doing+Well-being）の最大化を考えるようにします
45 〜 54歳	“55歳の壁”（=役職定年や役割交代の時期）を前にして、不遇な立場に置かれたり／自分の存在が弱まったり、「自分は何者？」／「これからどうすればいいの？」の「問い」に直面するようになる。これが「ミッドライフクライシス」（=中年の危機）です。—— そのためこの年代から《人生戦略》が不可欠となります。《人生戦略》7層ピラミッドの「幸福の基盤」＝「①健康寿命／②絆／③キャッシュフロー」と「④一身二生」の準備を始めます